

留学生向け企業説明会の開催報告(国際センター留学生 Gr.)

留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の土木関係の企業を知ってもらうとともに、就職情報の提供の機会として、7月6日(土)に留学生向け企業説明会を土木学会(東京)にて開催しました。企業13社からの協力を頂き、8社からのプレゼンと並行し、企業ブースによる個別説明とパンフレット配布をしました。参加留学生は55名で、主に関東の大学からの参加でした。

【参加企業】

(株)エイト日本技術開発、(株)大林組、大林道路(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)片平エンジニアリング、清水建設(株)、JFEエンジニアリング(株)、(株)長大、戸田建設(株)、NEXCO 東日本、(株)ネクスコ東日本エンジニアリング、日本工営(株)、日本道路(株)

企業説明会の冒頭では招待講演として、ベトナムからの留学生として来日し、現在は清水建設で活躍するファンハウ ユイ ウォック氏より、自身の留学生としての経験と日本企業で働くことについて、先端技術や大型プロジェクトに関係することの利点を交えお話があり、留学生にとって貴重な機会となりました。続いて各企業からプレゼンがあり、プロジェクトや業務内容、留学生の採用についての情報が提供されました。留学生は熱心に聴講し、質問も多くでした。また企業ブースにも留学生が並び、採用情報などを収集し、関心の高さを伺わせました。

今回の企業説明会は、土木学会として初めての企画でした。日本企業のグローバル化は多くの産業分野で必須となっており、土木業界以外では留学生採用を積極的に行う企業が増え、留学生向け企業説明会も多数開催されています。留学生グループでは、土木業界においても海外進出の重要性は認識されているものの、大きな力となり得る留学生と企業のマッチングの場は限られていると考えて、まず事前に約30の企業にアンケートを実施し、留学生への企業活動や採用に関する情報提供に関心があることを確認し、本説明会を実施することとしました。また、日本で学ぶ留学生のうち一定数は日本企業に就職することに興味を持ちつつも、十分な機会を提供できていないと考えられます。本企業説明会の参加留学生へのアンケートでも、そのような回答が多くありました。



企業のプレゼン風景



企業ブースの様子

今回の説明会は、留学生と企業のマッチングの場として、双方に大変好評でした。しかしまだ、日本企業の留学生への認知度は低く、また採用条件も採用数が少ないこともあり、必要な日本語レベルも含め明確でなく、留学生にとっては理解しやすい状態とは言えません。

留学生グループでは、継続的(年1回程度)に企業説明会を開催することで、留学生と企業がコミュニケーションできる場を提供していきます。

【記：国際センター留学生 Gr.リーダー 長井宏平】